

2014年度 一般2月入学試験

世界史

〔注意事項〕

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子の中を見てはいけません。
2. 問題冊子は17ページ、解答用紙はマーク・シート1枚です。監督者の指示に従って確認しなさい。
3. 問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
4. マークは、マーク・シートに記載してある「記入上の注意」をよく読んだうえで、正しくマークしなさい。
5. 受験番号及び氏名は、マーク・シートの所定欄に正確に記入し、また受験番号欄の番号を正しくマークしなさい。
6. 監督者の指示があってから、マーク・シートの左上部にある「科目欄」に受験する科目名を記入しなさい。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

世界史

(60分 100点)

I 三十年戦争に関して述べた次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。(32点)

近世から近代にかけてのヨーロッパでは、「国家」が政治的な主体となり、いわゆる主権国家体制がかたちづくられていった。そのきっかけの一つとされるのが、イタリア戦争であった。この戦争は、ハプスブルク家の皇帝権力に対して、百年戦争後の王権強化に成功したフランスが戦いを挑む形でおこなわれ、これに伴い、ヨーロッパの覇権をめぐって各国が複雑な同盟関係を結ぶことになった。

このイタリア戦争と並行して、ヨーロッパに大きく影響を及ぼす二つの出来事が起こっていた。一つ目は、大航海時代の到来である。国土回復運動 (レコンキスタ)⁽¹⁾を完成させたスペインとポルトガルが、新大陸やアジアへと進出し、のちの「世界の一体化」につながる動きを見せた。新大陸やアジア地域からもたらされた産物は、ヨーロッパ経済のみならず、ヨーロッパの社会全体を大きく変化させていった。⁽²⁾二つ目は、宗教改革である。1517年、ヴィッテンベルク大学の神学教授 が「95カ条の論題」を発表した時、かれはカトリック教会の墮落に対する批判を始め⁽³⁾たつもりではあっても、「宗教改革」などという大それたことは考えていなかったであろう。しかし、当時の情勢によってかれは宗教改革の旗振り役として前面に押し出されていった。宗教改革が広まるにつれ、神聖ローマ帝国内では、騎士戦争、ドイツ農民戦争、そしてシュマルカルデン戦争と大きな戦争が続いた。結局1555年のアウクスブルクの宗教和議で神聖ローマ帝国において 派は容認されることになり、⁽⁴⁾混乱に一応の收拾がつけられることになった。スイスではチューリヒの に続いてジュネーヴで が改革を指導した。1534年にイングランドでは によってイギリス国教会が創設された。これらプロテスタント諸会派の台頭によって危機感を覚えたローマ＝カトリック教会は⁽⁵⁾対抗宗教改革をおこない、巻き返しを図った。

新教（プロテスタント）の普及と旧教（カトリック）の巻き返しはさらなる摩擦

を生み、16世紀後半から17世紀前半にかけて西ヨーロッパ各地で宗教戦争が起こった。その最大にして最後のものが三十年戦争である。

17世紀前半は、全世界的な気候の寒冷化、疫病の流行、人口増加の停滞などによつて、大航海時代から続いていたヨーロッパの全体的な経済成長がとまり、「17世紀の危機」とよばれるような社会不安があらわれた時代であった。三十年戦争は、そのような時代をあらわす戦争でもあった。

新教徒の多かったベーメンにおいて王となったハプスブルク家出身のフェルディナント（のちの神聖ローマ皇帝フェルディナント2世）が、1617年に旧教化政策を実行すると、翌1618年にベーメンの新教徒がプラハ王宮の窓から王の顧問官を放り投げる事件が起きた。これが三十年戦争の発端となった。ここから皇帝フェルディナント2世とその子フェルディナント3世は、その相手をベーメンの反乱軍、デンマーク、スウェーデン、フランスと変えながら30年の長きにわたって戦い続けることとなったのである。

ベーメンでの新教徒の反乱は鎮圧されたが、混乱に乗じて、デンマーク王クリスチャン4世がイギリスの援助を受け、神聖ローマ帝国に侵入した。ここから戦争の様相は神聖ローマ帝国内の宗教的内乱から国際戦争へと変化していった。皇帝は傭兵隊長 5 を起用してデンマーク軍を破ったが、皇帝の権力伸長を脅威に感じたスウェーデン王 6 ⁽⁷⁾ が、フランスの援助を得て、神聖ローマ帝国に侵入した。しかし1632年にリュッツェンの戦いに勝利を収めたものの、その途中で王自身は戦死した。その後の戦況は再び皇帝側に有利に展開したため、ハプスブルク家と対立していたフランスがついに戦争の表舞台に立った。1635年にフランスは スペインに宣戦し、ドイツにも派兵、以降の対皇帝軍の中心を担った。⁽⁸⁾ 1640年にポルトガルがスペインとの同君連合を廃し独立すると、戦局は皇帝側の守勢が明白になり、⁽⁹⁾ ようやく和平交渉が進みはじめた。講和条約である 7 が結ばれたのは1648年のことであった。結果として、神聖ローマ帝国は完全に名目上の存在と化し、ヨーロッパの主権国家体制が確立していくこととなった。

問1 文中の空欄 ～ に入る語句として最も適当なものを，次の①～④の中からそれぞれ1つずつ選びマークしなさい。

- | | | |
|--------------------------------|---------|--------------|
| <input type="text" value="1"/> | ① アベラール | ② トマス＝アキナス |
| | ③ ルター | ④ ドゥンス＝スコトゥス |

- | | | |
|--------------------------------|----------|---------|
| <input type="text" value="2"/> | ① ツヴィングリ | ② ウィクリフ |
| | ③ フス | ④ カルヴァン |

- | | | |
|--------------------------------|----------|---------|
| <input type="text" value="3"/> | ① ツヴィングリ | ② ウィクリフ |
| | ③ フス | ④ カルヴァン |

- | | | |
|--------------------------------|---------|-----------|
| <input type="text" value="4"/> | ① ヘンリ7世 | ② ヘンリ8世 |
| | ③ メアリ1世 | ④ エリザベス1世 |

- | | | |
|--------------------------------|----------|-------------|
| <input type="text" value="5"/> | ① ホーキングズ | ② ヴァレンシュタイン |
| | ③ ドレーク | ④ クロムウェル |

- | | | |
|--------------------------------|-------------|----------|
| <input type="text" value="6"/> | ① グスタフ＝アドルフ | ② カール12世 |
| | ③ マリア＝テレジア | ④ マルグレーテ |

- | | | |
|--------------------------------|--------------|------------|
| <input type="text" value="7"/> | ① パリ条約 | ② ユトレヒト条約 |
| | ③ ウェストファリア条約 | ④ ネルチンスク条約 |

問2 文中の下線部(1)に関連して、1492年にスペインがレコンキスタを完成させたときに滅ぼしたイスラーム王朝の名を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

8

- ① 後ウマイヤ朝
- ② ムラービト朝
- ③ ムワッヒド朝
- ④ ナスル朝

問3 文中の下線部(2)に関連して、「価格革命」に関する記述 a, b の正誤の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

9

- a 新大陸から銀が大量に持ち込まれた。
- b 物価が大幅に下落した。

- ① a－正 b－正
- ② a－正 b－誤
- ③ a－誤 b－正
- ④ a－誤 b－誤

問4 文中の下線部(3)に関連して、この批判は贖宥状の販売を行っている教会への批判を含んでいたが、その販売の収益で修築されたローマの聖堂を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

10

- ① サン＝ピエトロ大聖堂
- ② ノートルダム大聖堂
- ③ サン＝ヴィターレ聖堂
- ④ サン＝マルコ大聖堂

問5 文中の下線部(4)の和議に関する記述として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 11

- ① この和議が結ばれたアウクスブルクは南ドイツの都市である。
- ② この和議が結ばれた時の神聖ローマ皇帝はカール5世である。
- ③ 同時にカルヴァン派の信仰も認められた。
- ④ 個人の信仰の自由は認められなかった。

問6 文中の下線部(5)の際に設立され、アジアなどへの布教に活躍した団体として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 12

- ① イエズス会
- ② フランチェスコ修道会
- ③ ドミニコ修道会
- ④ ギリシア正教会

問7 文中の下線部(6)の時期に、『海洋自由論』や『戦争と平和の法』を著し、「国際法の祖」、 「近代自然法の父」などと称されている人物の名を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 13

- ① ケネー
- ② アダム＝スミス
- ③ ルソー
- ④ グロティウス

問8 文中の下線部(7)に関連して、三十年戦争後にバルト海の覇権を握ったスウェーデンに対し、1700年にロシアがおこした戦争の名称として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 14

- ① 北方戦争
- ② ファルツ継承戦争
- ③ クリミア戦争
- ④ 七年戦争

問9 文中の下線部(8)に関連して、フランスが三十年戦争に参戦した時の宰相の名を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 15

- | | |
|----------|--------|
| ① リシュリユー | ② ミラボー |
| ③ コルベール | ④ ネッケル |

問10 文中の下線部(9)に関連して、カブラルの漂着によりポルトガル領となり、後にポルトガル王子が帝位に就いて独立した南米の国を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 16

- | | |
|----------|--------|
| ① コロンビア | ② ボリビア |
| ③ アルゼンチン | ④ ブラジル |

Ⅱ アジア発祥の宗教である仏教と道教について述べた次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。(34点)

紀元前7世紀頃になると、ガンジス川流域では農業生産の高まりの中で都市国家が多数つくられるようになった。都市国家が相争う小国乱立状態や、それと並行した商工業の発展などの社会的な変化は、人々にバラモン教の祭式至上主義に対する批判的な観点を与えることになった。そのような状況下であらわれたガウタマ＝シッダールタは29歳で出家し、6年間にわたって苦行を積んだ。しかし、彼は「苦」を乗り越える道を得られず、 国の菩提樹のもとで瞑想に入り、ついに大悟、解脱の境地に至った。かれは四諦・八正道によって人間の欲望を克服することを説き、さらに、バラモン教に基づく身分制度を批判したが、彼の教えは多くの人々に受け入れられるようになっていった。⁽¹⁾

紀元前4世紀後半、西方からの遠征軍が退くと、インドでは統一国家建設の機運が高まった。チャンドラグプタは⁽²⁾ 国ナンダ朝を倒し、 朝を建てた。第3代王 は仏教に帰依し、仏典の編纂や各地への布教を積極的におこなった。それらの過程で多数の教団が形成されていったが、厳しい修行による自己の解脱を目的とする上座部仏教の考えと、紀元前後に興ったとされ、自分を含めた万人の成仏を目的とする改革派の大乘仏教の二つが主流となった。⁽³⁾

西域を経由して仏教が中国へ伝来したのは1世紀頃のこととされるが、当初は上層階級の一部が信仰するのみで、本格的に仏教が広まるのは4世紀以降のことになる。五胡十六国時代には や鳩摩羅什ら多くの中央アジア出身の僧が華北で布教や仏典の漢訳につとめ、また北魏では遷都後の首都 近郊の竜門などに見られるような巨大な仏教石窟寺院が造営された。江南でも王室・貴族に信仰が広まり、東晋の僧 はインドへ旅して『仏国記』を著した。

このような仏教の隆盛に影響を受けて、同じころに大成されたのが道教である。道教は、古来の老荘思想、神仙思想、それに後漢末に起こった民間信仰を融合させたもので、⁽⁵⁾仏教の教理や儀式を参考にして教団の体裁を整えた が北魏の太武帝の厚い信任を得て、勢力を広げた。⁽⁶⁾

唐代に入ると仏教は国家的保護を受けて栄えた。仏僧のインド求法の旅などによ⁽⁷⁾

り、仏典の翻訳・研究が進んだため、唐代以降、仏教は東アジア全域に広がり、契丹人の遼やタンゲート人の西夏、女真人の金でも仏教が栄えた。さらに朝鮮では、仏教が保護されていた高麗において、モンゴルの退散を祈念して 24 がつくられた。チベットでも独自のチベット仏教がうみだされた。一方、道教も、老子と唐の高祖⁽⁸⁾が同じ李姓であったことから保護を受け、高祖以来、老子廟の設立や官立⁽⁹⁾の道観（道教における寺院）の設立などがおこなわれた。このようにインドに生まれた仏教、中国に生まれた道教のいずれも、権力との距離によってその時々で違いはあるが、アジアのさまざまな人々に広く受け入れられてきた。

問1 文中の空欄 17 ～ 24 に入る語句として最も適当なものを、次の①～④の中からそれぞれ1つずつ選びマークしなさい。

- | | | |
|----|---------|---------|
| 17 | ① カリंगा | ② マガダ |
| | ③ コーサラ | ④ カシミール |

- | | | |
|----|--------|---------|
| 18 | ① マウリヤ | ② クシャーナ |
| | ③ グプタ | ④ ヴァルダナ |

- | | | |
|----|---------|----------------|
| 19 | ① アショーカ | ② ソンツェン = ガンボ |
| | ③ カニシカ | ④ チャンドラグプタ 2 世 |

- | | | |
|----|-------|---------|
| 20 | ① 道安 | ② ツォンカパ |
| | ③ 仏図澄 | ④ 慧遠 |

- | | | |
|----|------|------|
| 21 | ① 長安 | ② 建康 |
| | ③ 洛陽 | ④ 汴州 |

- | | | |
|----|------|------|
| 22 | ① 玄奘 | ② 韓愈 |
| | ③ 達磨 | ④ 法顕 |

23

- ① 王重陽
- ③ 蘇秦

- ② 寇謙之
- ④ 張儀

24

- ① 仏国寺
- ③ 経国大典

- ② 石窟庵
- ④ 大藏經

問2 下線部(1)に関連して、武士・貴族階層をあらわす種姓（ヴァルナ）の名称を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 25

- ① バラモン
- ② クシャトリヤ
- ③ ヴァイシャ
- ④ シュードラ

問3 下線部(2)に関連して、この遠征軍を率いていた人物を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 26

- ① フィリッポス2世
- ② アレクサンドロス
- ③ トラヤヌス
- ④ ダレイオス1世

問4 下線部(3)に関連して、上座部仏教が伝来し栄えた地域として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 27

- ① 日本
- ② 朝鮮半島
- ③ モンゴル
- ④ タイ

問5 下線部(4)に関連して、大乘仏教の考え方として最も適当なものを、次の①～

④の中から1つ選びマークしなさい。 28

- ① 出家者が厳しい修行を行って自身の救済を求めるものである。
- ② 自身の悟りよりも人々の救済の方がより重要と考えた。
- ③ 出家をすることにより修行に取り組む意義を説いた菩薩信仰にその考え方の基礎をおいた。
- ④ 形式的な信仰を排し、神との一体感を求めた。

問6 下線部(5)に関連して、老荘思想を表すことばとして最も適当なものを、次の

①～④の中から1つ選びマークしなさい。 29

- ① 仁
- ② 無為自然
- ③ 法治主義
- ④ 合従連衡

問7 下線部(6)に関連して、後漢末期にこれら民間信仰の宗教結社の影響下で起こった農民反乱を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 30

- ① 永嘉の乱
- ② 黄巾の乱
- ③ 八王の乱
- ④ 呉楚七国の乱

問8 下線部(7)に関連して、インド求法の旅を行った義浄が著した書物を、次の

①～④の中から1つ選びマークしなさい。 31

- ① 『大唐西域記』
- ② 『南海寄帰内法伝』
- ③ 『世界の記述』
- ④ 『五経正義』

問9 下線部(8)に関連して、16世紀後半にモンゴルのアルタン＝ハンが黄帽派チベット仏教の指導者に献じた称号として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

32

- ① ダライ＝ラマ
- ② ディアドコイ
- ③ スルタン
- ④ コンスル

問10 下線部(9)に関連して、この人物の名を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

33

- ① 李舜臣
- ② 李自成
- ③ 李世民
- ④ 李淵

Ⅲ 中国の北方民族の歴史について述べた次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。(34点)

紀元前4世紀末、中国を脅かす有力な北方民族である匈奴⁽¹⁾がモンゴル高原に出現した。匈奴は戦国時代の中国と抗争を繰り返し、なかでも紀元前3世紀末頃にあられた冒頓単于は大いに漢を苦しめたため、前漢は匈奴に対して公主や特産品を贈るなど消極的な態度をとった。その後、武帝の外征により、一時期ではあるが匈奴に対して優勢となったが、武帝の死後は再び消極策に転じた。その後匈奴は内紛によって東西に分裂し、さらに南北に分裂することとなった。

後漢⁽³⁾が衰退し、北方へのにらみが効かなくなると、モンゴル高原では匈奴に代わり鮮卑が活発に動き始め、2世紀中ごろにモンゴル高原を統一した。やがて鮮卑は分裂すると、モンゴル南部各地に割拠した諸部族が相次いで華北に進出し、多くの国を建てた。これを五胡十六国⁽⁴⁾という。西晋の末期から勢力をかため始めた拓跋氏は、396年に拓跋珪が帝位につき、北魏の太祖道武帝となった。彼は着々と勢力を拡大し、ついに398年に現在の山西省大同にあたる に都を定めた。第3代太武帝は439年に華北を統一し、第6代孝文帝⁽⁵⁾は社会の安定につとめた。その後成立したいわゆる北朝の国々でも、それに続く隋唐帝国でも、政権を担ったのは鮮卑の流れを汲む華北の豪族たちであった。

鮮卑が華北に移動した後、モンゴル高原では5世紀に柔然が強勢となったが、6世紀なかば頃には 系の突厥にその地位を奪われることとなった。突厥はササン朝と結んで、中央アジアの遊牧民 を滅ぼして内陸アジア西部にも進出した。突厥は583年に東西に分裂したが、その後も有力な遊牧国家として、隋・唐をはじめとする周辺諸国の政局に大きな影響を及ぼした。このうちの東突厥を8世紀なかばに倒し、モンゴル高原に新たに台頭してきたのがウイグルである。ウイグル⁽⁶⁾は、唐の節度使が8世紀後半に起こした大反乱の際、唐に援軍を送ってその鎮圧に力⁽⁷⁾を貸したが、その後は唐の北辺をおびやかす存在となった。9世紀中ごろになるとウイグルはキルギスの攻撃などによって四散し、その一部は西方へと移住していった。

モンゴル高原東部で遊牧を行っていた契丹族は のもとで強勢となり、

10世紀初めには遼を建国した。遼は唐の滅亡により分裂状態に陥った中国に積極的に介入し、現在の河北省・山西省の北部である燕雲十六州を獲得し、⁽⁸⁾華北の農耕地帯の一部をその支配下に置いた。11世紀になると、中国の西北辺境にいたチベット系のタンゲート族が西夏を建て、12世紀には、中国東北地方東部を居住地としていたツングース系の女真族が台頭し、金を建てた。金はまず宋と同盟して遼を攻め滅ぼしたのち、南下して宋に侵入し、その都をおとし入れ、皇帝欽宗や前の皇帝の徽宗を捕らえて北に連行した。宋は中国北部をすてて江南にのがれ、南宋を建てた。

12世紀末にモンゴル諸族を統一したテムジン⁽⁸⁾は、1206年にモンゴル帝国の成立を宣言し、チンギス=ハンの称号を得た。彼は中央アジアから南ロシアを含む大国家を形成し、第2代オゴタイ=ハンは、西征軍を派遣して西北ユーラシアを席卷した。その後第4代モンケ=ハンが即位すると、モンゴルは分裂の不安を抱えながらも、さらに発展した。モンケはフビライに命じて大理国を滅ぼさせ、38を西方に派遣してアッパース朝を滅ぼさせた。

こうして13世紀中葉には、世界史上空前の大帝国が出現した。しかし、帝国内⁽⁹⁾諸勢力の間では争いが絶えず、相続争いをへて即位した第5代フビライは、自分の勢力基盤のあった東方に支配の重心を移し、都を大都（現在の北京）に決め、国号を元に改めた。フビライが死ぬと、帝位をめぐる争いが続き、さらにチベット仏教の保護に巨額の資金が投入されたため、財政が困窮した。それに対して、政府は39とよばれる紙幣を乱発し、さらに農民に重税を課すことで経済の混乱を招き、各地で農民反乱が多発した。特に白蓮教徒による紅巾の乱をきっかけに、元の中国支配は急速に衰えていった。

15世紀から16世紀にかけて、モンゴルのエセン=ハンやアルタン=ハンが中国北辺を脅かした。アルタン=ハンの死後再びモンゴルは分裂し、中国とモンゴルの境界付近に東から順にチャハル部、ハルハ部、ジュンガル部が並ぶようになった。

17世紀前半、中国東北部において有力となったのは女真族であった。女真族を統一したヌルハチは後金を建て、明朝衰退の時機に乗じて、満州をその支配下に置くことに成功した。国号を清と改称した第2代皇帝ホンタイジがチャハル部を制圧して、モンゴル統治の担当として蒙古衙門を置いたが、のちにこれは40と

改称され、清が青海、チベット、さらに、「最後の遊牧帝国」ともいわれるジュンガル部を制圧することに成功した⁽¹⁰⁾後には、新疆をも管轄することとなった。そして、1661年に華南を平定すると、中国全土は清の直接支配下に入った。これ以降、20世紀のはじめに清朝が倒れるまで、ほぼ2世紀半あまり、中国は北方民族の支配下におかれることになった。

問1 文中の空欄 34 ~ 40 に入る語句として最も適当なものを、次の①~④の中からそれぞれ1つずつ選びマークしなさい。

- | | | |
|----|---------|---------|
| 34 | ① 建業 | ② 山海関 |
| | ③ 瀋陽 | ④ 平城 |
| 35 | ① トルコ | ② イラン |
| | ③ モンゴル | ④ ツングース |
| 36 | ① 烏孫 | ② バクトリア |
| | ③ フェルガナ | ④ エフタル |
| 37 | ① 劉淵 | ② 耶律阿保機 |
| | ③ 李元昊 | ④ 完顔阿骨打 |
| 38 | ① ジュチ | ② バトゥ |
| | ③ ハイドゥ | ④ フラグ |
| 39 | ① 飛銭 | ② 交子 |
| | ③ 会子 | ④ 交鈔 |
| 40 | ① 軍機処 | ② 蒙古八旗 |
| | ③ 理藩院 | ④ 緑営 |

問2 下線部(1)に関連して、匈奴に関する記述として最も適当なものを、次の①～

④の中から1つ選びマークしなさい。 41

- ① 戦国時代から華北の王朝は匈奴の侵入を防ぐために長城を築いていた。
- ② 中国を統一した秦の始皇帝は、鄭成功を匈奴遠征に派遣した。
- ③ 前漢の武帝は匈奴勢力を退け、西域に楽浪郡など4郡を置いた。
- ④ 匈奴の騎馬文化は南ロシア草原地帯のスキタイ文化に影響を与えた。

問3 下線部(2)に関連して、匈奴挾撃のため武帝が大月氏に派遣した使者を、次の

①～④の中から1つ選びマークしなさい。 42

- ① 班超
- ② 甘英
- ③ 張騫
- ④ 李広利

問4 下線部(3)に関連して、後漢に関する記述として最も適当なものを、次の①～

④の中から1つ選びマークしなさい。 43

- ① 劉秀が建国した。
- ② 匈奴の単于に嫁いだ宮女の悲劇を描いた『漢宮秋』が著された。
- ③ 康有為らが訓詁学を大成させた。
- ④ 前漢の歴史を司馬遷が『漢書』にまとめた。

問5 下線部(4)に関連して、いわゆる五胡に含まれないものを、次の①～④の中か

ら1つ選びマークしなさい。 44

- ① 韓
- ② 羯
- ③ 氐
- ④ 羌

問6 下線部(5)に関連して、孝文帝が実施し、隋や唐でも継承された土地制度を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 45

- ① 屯田制
- ② 均田制
- ③ 里甲制
- ④ 占田・課田法

問7 下線部(6)に関連して、ウイグルの人々が主に信仰していた、3世紀頃に西アジアで興った宗教を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 46

- ① マニ教
- ② シク教
- ③ パープ教
- ④ ゴロアスター教

問8 下線部(7)に関連して、8世紀半ばに唐の節度使とその部下がおこした反乱を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 47

- ① 陳勝・呉広の乱
- ② 黄巢の乱
- ③ 赤眉の乱
- ④ 安史の乱

問9 下線部(8)に関連して、契丹に建国を支援され、燕雲十六州を割譲した王朝を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 48

- ① 後梁
- ② 後唐
- ③ 後晋
- ④ 後漢

問10 下線部(9)に関連して、モンゴル帝国は緩やかな統一を保ったまま分裂していったが、その過程で中央アジアに建国されたものとして最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 49

- ① チャガタイ＝ハン国
- ② キプチャク＝ハン国
- ③ イル＝ハン国
- ④ クリム＝ハン国

問11 下線部(10)に関連して、ジュンガル部を滅ぼし、清朝の版図を最大にした皇帝を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

50

① 康熙帝

② 雍正帝

③ 乾隆帝

④ 道光帝